



皆さんも、これを参考にして、立てた目標を実現するための具体的な行動のルールを考えてみてはどうでしょうか。

目標のもとになる「思い=志」を持っていますか  
4 4 期生の卒業式での言葉から  
「将来は海外で言葉の壁を越えて人々をつなげる仕事につきたい」  
「人の役に立つ、誰の目につかなくても世の中を支える人になるために電気工事の仕事に就きたい。」

- ・自分が世の中でこんな役割を果たしたい
- ・こんな風に他の人に影響を及ぼす人になりたい、  
という思い

志

ところで皆さんは目標のもとになる「思い、志」を持っていますか。

例えば、昨年君たちの先輩は卒業式でこんなことを言っていました。

「将来は海外で言葉の壁を越えて人々をつなげる仕事につきたい」  
「これからも人の役に立つ、誰の目につかなくても世の中を支える人になるために電気工事の仕事に就きたい。」

ただ単に夢や自分だけの目標ということではなく、

- ・自分が世の中でこんな役割を果たしたい、とか
- ・こんな風に他の人に影響を及ぼす人になりたい、という思い。

それが「志」です。

志とは、人生の目的といってもよいでしょう。  
山の頂上までたどり着く登山ルートがいくつもあるように、志を達成するために、通るルートや目標はひとつではありません。

志を達成するルートはいくつもある



ぶれない志を持っていれば、多少の挫折やルートの変更でへこたれることはありません。  
やる気スイッチが入れば頑張れる人、などとよく言われますが、いったん入れたら最も切れないスイッチとは『志』ではないでしょうか。

中学生は、もう幼い子どもではありません。  
自分の将来のあるべき姿、その志を立ててもよい頃だと思えます。

客観的に自分を知る方法とは

- ・自分の性格ってどんなだろう？
- ・自分の興味のあることって何だろう？
- ・自分はどんなことが得意で、どんなことが苦手なのか？
- ・自分はどんな方法で勉強するのが効果的なのか？
- ・目で見る方が理解しやすいのかな？
- ・それとも説明を聞く方がわかりやすいのかな？
- ・完成品を見て作るのが得意かな？それとも組み立て手順を一つ一つ追いついて作る方がいいのかな？

志や目標を立てるのが今はまだ難しい人は、まず自分を知ることから始めればよいと思います。

自分の姿は、自分ではよくわからないものです。  
人から見えている自分の姿を言われると、つい反発したくなってしまうですね。

・自分の性格や興味、自分はどんなことが得意で、どんなことが苦手なのか、どんな方法で勉強するのが自分にとって効果的なのか、といったことは、案外自分ではわからないものです。

・目で見た方が理解しやすいのかな？それとも説明を聞いた方がわかりやすいのかな？

・完成品を見て考えるのが得意かな？それとも組み立て手順を一つ一つ追いついて作る方がいいのかな？

そういったことは、一人ひとりの個性が出る部分です。

客観的な自分を知る方法として、心理検査を受けるという方法もあります。

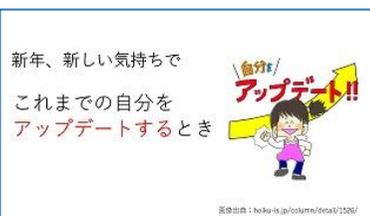
右は KABC という検査、左は WISC という検査で、この2つは学習するうえでの強い部分、弱い部分を調べることができます。小さなテストをたくさんして学習の特性を調べます。あなたにとっての効果的な勉強の方法がわかるかもしれません。



検査について、もし興味ある人で受けてみたいという人があれば、おうちの人と相談して校長まで申し出てください。

新年は気分が変わり、これまでの自分をアップデートするには良い時期です。

- ・ 1年生はいよいよ先輩になりますね。よい先輩になる準備をする3学期です。
- ・ 2年生は間もなく最上級生。進路選択の時も近づいてきています。
- ・ 3年生は、いよいよ義務教育から卒業し、自分の力で人生を歩み出す時です。



志を立て、目標をしっかりと決めて、その達成に向けてこの1年どんな風に過ごしていこうかと考えてみてください。

保護者の方へ 心理検査について

#### ■K-ABC II (検査には2時間程度かかります)

子どもに実施する検査です。認知処理の仕方(同時処理能力:全体の情報をまとまりとしてとらえて考える力、継次処理能力:情報をひとつずつ順序立てたり時間軸で考えたりする力)に加え、読み・書き・算数(数学)・語彙の学習習熟度を測定する検査です。

#### ■WISC V (検査には2時間程度かかります)

子どもに実施する10種類の基本検査と6種類の補助検査によって、全検査IQ(FSIQ)、言語理解指標(VCI)、視空間指標(VSI)、流動性推理指標(FRI)、ワーキングメモリー指標(WMI)、処理速度指標(PSI)の測定ができます。

#### ■PARS-TR (検査には1時間弱程度かかります)

保護者の方と面談し、33の質問項目にお答えいただきます。その結果を数値化し、ASD(自閉スペクトラム症)の傾向を知ることができます。

もし、ご希望がありましたら校長(公認心理師資格有)までお電話ください。ただし、いずれも診断をするものではありません。(診断ができるのは医師のみです)

なお、上の2つについてはお子さんが対象ですので本人が同意していないとできませんし、時間がかかりますので土・日曜、祝日以外の実施は難しいです。

## 部活動の運営にご理解・ご協力をお願いします。

部活動への参加は、自己有用感を高めたり、達成感、協働、連帯、信頼感を感じたり、礼儀が身につく、課題を見つけ解決する力を育成する等が期待でき、その活動の過程で人格が磨かれるといった側面があります。

また、部活動は学級や学年を離れた集団の中で、お互いに協力したり高め合ったりしながら生徒たちが自発的・自主的に取り組むことにより、仲間意識の向上や自ら取り組む態度の育成が期待できる活動でもあります。

部活動への参加は強制ではありませんが、部活動をとおして体力やスキルの向上といった生涯学習への下地作りや、自治の力を育むことができると願っております。

一方、部活動の指導は教員の業務と位置付けられていない中で、校長からお願いをし、子どもたちのためにと顧問についた教員により何とか成り立っているのが現状です。教職員にとっては、運動部でそのスポーツの経験が全くなくても顧問に就かざるを得なかったり、育児や介護やその他さまざまな事情の中、何とか顧問を務めていたりというケースも少なくありません。教職員の部活動手当は土日祝の週休日に2時間以上1800円4時間以上の活動では一律3600円であり、例えば日曜日に8時集合、試合で遠征し学校帰着18時といったケースだと時給360円となる計算です。しかも交通費は出ません。生徒の引率、熱中症やケガの対応、審判、会場運営、土曜日の試合が雨天中止になった時のために日曜日の予定も入れられない、といったこともあります。今年度十五中では全職員に受けて頂いていますが、全国的に部活動の顧問のなり手は減っており、毎年4月には今年はすべてのクラブに顧問が配置できるだろうか、とハラハラします。

## 部活動指導員、部活動指導協力者への登録のお願い

国・府・市では、これらの課題を解消するために部活動の民間への移行や部活動指導員の配置などを進めようとしています。現在十五中では部活動指導員が陸上部に、部活動協力者がサッカー、バドミントン、バスケット、ソフトボール部に来て頂いています。もし、スポーツ経験があり中学生に指導してみようという方がおられたら是非登録していただけますと大変助かります。市役所のこちらのページをご覧ください。

[https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/kyo\\_iin/iin\\_topics/bukatudou.html](https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/kyo_iin/iin_topics/bukatudou.html)



### \*\*\*\*\* 十五中のクラブ規定（抜粋）\*\*\*\*\*

- ・原則、平日の活動は16時55分まで。その後片づけ15分間。(17:10完全下校)
- ・試合、コンクール等の2週間前から延長願により次の活動時間延長が認められる。  
4月～10月は最大17時45分（18:00完全下校）  
11月～3月は最大17時15分（17:30完全下校）
- ・週当たり2日以上以上の休養日を設ける。平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする。試合の日程等により休養日が確保できなかった場合は、他の日に休養日を振り替える。

さまざまな事情の中で部活動が運営されていることに是非ご理解をいただき、ご協力を頂きますようお願いいたします。